

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 558 事業名 水路維持事業

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	1	総合防災対策の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組	3	土砂災害・水害の予防対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	下水道管理課	木村 芳裕(435-1096)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		下水道費	
	目		水路維持費	
	大事業		水路維持事業	
	事項		水路維持事業	

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
○			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	市街化区域にある法廷外水路等当課管理の水路の通水管理	泥、ゴミ等の堆積により水路の通水機能が損なわれている場合に浚渫をすることにより、適正な通水機能が保たれた状態とする。また、頻繁に堆積する場所については底面等にコンクリート打ちの工事を行い対応する。 業務の工程は、地元等からの要望により現場確認を行い、必要性を認めた場合は、業者へ委託し業務を行なう。また、業務完了後は報告を受け、担当職員が検査することにより完了する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		水路の維持・修繕	水路の維持・修繕	水路の維持・修繕	水路の維持・修繕	水路の維持・修繕

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	123,576	121,957	120,920	119,706	106,543	102,735	107,345	111,394	102,001	
伸び率 (%)	-	-	-2.1%		-11.9%		0.8%		-5.0%	
人件費	常勤職員	13,552	14,005	13,552	39,293	39,293	35,750	35,750	34,668	34,668
	非常勤職員	4,320	4,320	4,320	1,037	1,037	2,468	2,468	1,206	1,206
	小計	17,872	18,325	17,872	40,330	40,330	38,218	38,218	35,874	35,874
国庫支出金	14,250	744				4,100				
県支出金										
市債										
その他						13		7,153		
一般財源(税等)	109,326	121,213	120,920	119,706	106,543	98,622	107,345	104,241	102,001	
所要人数	常勤職員	1.77	1.77	4.98	5.2	5.2	4.73	4.73	4.67	4.67
	非常勤職員				0.41	0.41	0.48	0.48	0.57	0.57
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	要望受付件数					年度目標値					
						実績値	119	116	100	129	
	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
						年度目標値					
成果指標	修繕箇所件数					年度目標値	119	116	100	129	
						実績値	119	116	100	129	
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度	99.2%	96.7%	83.3%	129.0%
						年度目標値					
				実績値							
				年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性(担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>近年、住宅開発の増加等により、水路内の泥、ゴミ等の堆積が増加している。 なお、昨年度より水路敷の泥上げ場の草刈の費用が増大していることへの対策として、土間コン工事を多く実施できるよう改善している。</p>
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「<u>現状維持</u>」以外の場合は記載</p>	